開進第三中学校・開進第二小学校・開進第三小学校

中学校区の特色

・小中一貫して、あいさつを意識した取組を多く行っている。
・学習意欲が高く、学年が上がるにつれて進んで学習に取り組む態度が身に付いている。

目指す 15 歳の姿

自己肯定感をもち、進路(人生)の目標に向けて努力し、社会に貢献できる人

１　小中一貫教育の取組プログラム

「柱」となるテーマ		特別活動	ICT の活用
中学校	第３学年	・委員会活動 ・部活動 ・小学校との挨拶交流 ・生徒会によるあいさつ呼びかけ	・活用場面に応じて、アプリを使い分けながら、主体的に ICT を活用することができる。
	第２学年		・行事や授業で活用することなどに加え、わかりやすくまとめ、グループで協同学習をすることができる。
	第１学年		・スライドやドキュメントを用い、自分の意見や考えに基づいて発表活動ができる。
小学校	第６学年	・中学校授業体験（6 年生） ・縦割り班活動 →6 年生は計画・運営 ・委員会活動（5・6 年生） ・クラブ活動（4 年生以上） ・１、２年生の交流 ・１、６年生の交流 ・クラスタイム	・オクリンクやスライドを学習の振り返りやまとめとして活用することができる。
	第５学年		
	第４学年		・相手にわかりやすく伝わるよう考えながらスライド作成ができる。 ・作文の下書きとしてドキュメントを活用し、文章構成を考えることができる。
	第３学年		
	第２学年		・Chromebook の起動や終了、写真撮影などをはじめとした基本的な操作ができる。
	第１学年		

２　今年度の取組日程

日程	取組内容
６月１８日（水）	第１回校区別協議会
１０月２２日（水）	第 2 回校区別協議会・中学校による出前授業
１０月２３日（木）	開進第三中学校・開進第二小学校あいさつ交流
１１月　４日（火）	開進第三中学校・開進第三小学校あいさつ交流

３　取組の様子

（１）あいさつ交流

開進第三中学校の生徒会が各小学校に出向き、登校時間にあいさつ運動を実施した。小学校の児童会、担当委員会の児童も中学生とともに校門に立ちあいさつをすることで､学校全体を代表する役割の大切さを学んでいるようであった｡中でも６年児童は、中学生の自ら積極的に挨拶をし、優しく振る舞う様子を見て、卒業後の自分を思い浮かべているようであった｡毎年児童が楽しみにしている「あいさつマン」の姿もあり、各小学校の児童たちが進んであいさつをしている様子が見られた。





（２）出前授業

開進第二小学校での校区別協議会では、授業公開の際に、中学校の先生が小学６年生の授業を行う出前授業を実施した。中学校で実際に行った授業を小学生が実際に受けることで、中一ギャップを少しでも減らし、進学への抵抗感を減らす目的がある。出前授業後に協議会を行うことで、中学校区の児童の実態を共有しながら情報交換を行うことができた。

４　今年度の成果と今後の方向性

定期的に「あいさつ運動」をすることで小学生と中学生の関わりが深まり、地域にも挨拶の輪が広がり、児童・生徒の防犯や育成につながった。

協議会では、小学校からの流れや中学での様子を把握し、自己肯定感を高めることの大切さを改めて認識し、小学校から中学にスムーズにつながるような取組を考えることができた。また、ICT 機器を用いた有効な指導法、活用する力を伸ばしていくための方策、ICT 機器を利用するためのリテラシーの定着について議論を行い、９年間を見通した ICT 機器の有効な活用法について各校と情報共有できた。

目指す 15 歳の姿である「社会に貢献できる人」を育成するために、今後はこれまで継続的に続けてきた上記の取組に加え、小学生と中学生がより関わりをもてるような活動を考える必要がある。